

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニチイのきらめき小田原	階数	地上3F
建設地	小田原市成田八反田482-1、-2、-3の一部	構造	S造
用途地域	第1種住居・準防火・都市計画区域・市街化区域	平均居住人員	80人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月	評価の実施日	2013年8月2日
敷地面積	2,195 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	999 m <sup>2</sup>	確認日	2013年8月2日
延床面積	2,906 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 84%  
上記+: 84%  
上記+: 84%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 環境への配慮として、省エネルギー性を高めた建物とした。周辺地域へ溶け込む様に外装にも配慮し、敷地内にはできる限りの緑化を計画した。	<b>その他</b>	
<b>Q1 室内環境</b> 1階ホール部は開放的な空間とし、居室の天井高2.4mとして快適な空間となるよう心がけた。	<b>Q2 サービス性能</b> 情報通信社会に対応し、ブロードバンドを設けている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺環境に合わせて外装材を選定し、できる限りの緑化を設けている。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物内の断熱性を高めて熱負荷の抑制に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げ材を分別しやすいうに配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される